

サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム

設立記念シンポジウム

平成22年8月7日(土)

東京大学本郷キャンパス小柴ホール

サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)は、人間、社会、地球というスケールの広がりを持ち、俯瞰的な視野に基づく分野横断的な研究を志向するサステイナビリティ・サイエンスという新しい学問分野の構築を推進してまいりました。IR3Sのこれまでの成果を踏まえて、社会へ展開を図るために、一般社団法人サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)を本年5月19日に設立しました。SSCでは、サステイナビリティ・サイエンスの視点に立脚した教育による新しい人材の育成や、企業、地方自治体などの行政や一般市民などへの持続可能な社会形成の啓発普及や実践活動の展開を推進支援する学術、科学振興を目的とします。今回SSCの設立を期に設立記念シンポジウムを開催いたします。

14:00~14:05 開会挨拶 小宮山宏(SSC理事長)

14:05~14:15 来賓挨拶 竹本和彦(環境省地球環境審議官)

14:15~17:25 記念講演

14:15~15:00 末吉興一

「“公害対策、から環境首都に成長するまで(地域の視点から)”

15:00~15:45 三村信男

「気候変動への賢い対応とサステイナビリティ学」

15:45~15:55 休憩

15:55~16:40 味埜俊

「『サステイナビリティ学』を教育するとはどういうことか」

16:40~17:25 小宮山宏

「持続可能社会の実現に向けて～課題先進国日本の役割～」

17:25~17:30 閉会挨拶

17:30~18:30 懇親会(於 小柴ホール・ホワイエ)

懇親会会費:3,000円



末吉興一 財団法人国際東アジア研究センター 理事長

1958年東京大学法学部卒。建設省に入省後、国土庁土地局長、北九州市長、外務省参与、内閣官房参与を歴任。2009年から現職。東アジアの経済・社会問題の研究を行い、国際学術交流を促進している。



三村信男 茨城大学地球変動適応科学研究機関 機関長

1974年東京大学工学部都市工学学科卒業、1979年同大学院博士課程修了。東京大学工学部助教授、茨城大学工学部教授などを経て、2006年から現職。専門は、地球環境工学、海岸工学。1990年頃から気候変動や海面上昇の影響の予測や対策を研究対象にして、わが国のほか南太平洋諸国やタイ、中国において調査研究を行っている。



味埜俊 東京大学新領域創成科学研究科 教授

1978年東京大学工学部卒業。1983年同大学工学博士。同大学工学部助教授、教授を経て、1999年から現職。2009年からは環境学研究系系長。社会文化環境学専攻で教育に当たるとともに、2007年に新しく設置された「サステイナビリティ学教育プログラム」の設立時責任者を2009年まで務めた。



小宮山宏 株式会社三菱総合研究所 理事長

前東京大学総長。1967年東京大学工学部卒。1972年同大工学博士。2000年同大工学部長。2005年総長に就任。2009年から現職。20世紀において爆発的に増大した知識の適切な動員と統合を可能にすべく、知の構造化を提唱。専門分野は科学システム工学、地球環境工学。

主催: 一般社団法人サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)
東京大学サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)

問い合わせ先: 一般社団法人サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)事務局
080-4004-7171 info@ssc-g.net (申込先着順)